

製品名: ビメンチンマウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80578**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間、ネズミ、サル |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含むPBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 54kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------|
| 遺伝子名 | Vimentin |
| 別名 | FLJ36605; VIM |
| 遺伝子ID | 7431.0 |
| SwissProt ID | P08670 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したビメンチンの精製された組み換え断片。 |

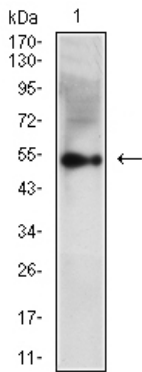
背景

ビメンチンは、間葉系細胞の中間径フィラメントの主要なサブユニットタンパク質です。核と細胞膜間のタンパク質輸送に関与していると考えられています。ビメンチンは、ステロイド合成を促進するコレステロールを含む脂肪滴の貯蔵ネットワークとしての役割

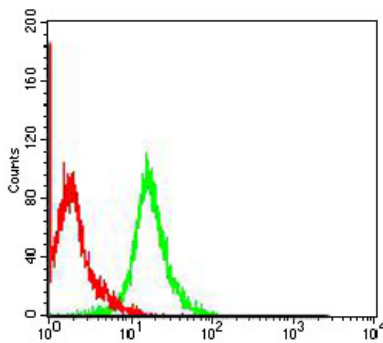
を通じて、ステロイド合成速度に関与していると考えられています。タンパク質キナーゼによるビメンチンのリン酸化は、中間径フィラメントの分解と ATP およびミオシン軽鎖依存性収縮反応の活性化を引き起こします。その結果、細胞骨格が変化し、ミトコンドリア内での脂肪滴の相互作用が促進され、続いてコレステロールが細胞小器官に輸送され、ステロイド合成が増加します。ビメンチンの免疫組織化学染色は、一般的に陰性である癌腫と比較して、肉腫（神経、筋、線維芽細胞由来）に特徴的です。黒色腫、リンパ腫、血管腫瘍はすべてビメンチンで染色される可能性があります。ビメンチン抗体は、未分化腫瘍および悪性腫瘍の鑑別診断において有用です。通常、サイトケラチン、リンパ系マーカー、S100、デスミン、ニューロフィラメントを認識する抗体など、他の抗体パネルと併用されます。

研究分野

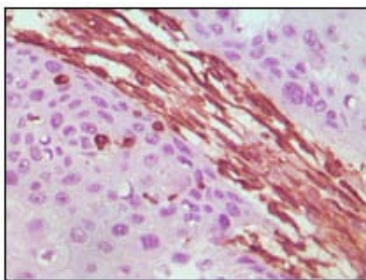
画像データ



NIH/3T3 細胞溶解物に対する Vimentin マウス mAb を使用したウェスタン ブロット分析。



Vimentin マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。



パラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。DAB 染色によるビメンチンマウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。